横尾小学校便り
みがけ心、きたえ体
横尾っ子だより
令和４年度　第１２号　R4.7.20.（水）
～かしこく　やさしく　たくましく～
文責　校長　河野正勝

７月は「ココロねっこ運動」強調月間です。

お知らせが遅くなりましたが、７月は長崎県「ココロねっこ運動」強調月間です。

「ココロねっこ運動」は、子どもの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる県民運動です。～大人みんなで子どもの心を育てましょう！「あいさつします。私から！」～というキャッチフレーズで取り組まれています。

内閣府では、昭和５４年以来、毎年７月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、青少年の非行・被害防止対策の推進を呼びかけており、それにあわせて本県でも７月を「ココロねっこ運動強調月間」と位置づけてあります。家庭・学校・地域社会・行政が一体となり青少年の健全育成と環境浄化を目的としています。

今回は、その取組に次の２点が挙げられています。

１　適切なインターネット利用の推進

「ネット・電子メディア利用ながさき基準・夜９時まで」の推進 ※「ながさき基準」は青少年のネット・電子メディアの遊びや楽しみとしての利用を夜９時 までとし、ネット・電子メディアの適切な利用と、青少年の心身の成長・発達への悪影響 を減少させることを目的としています。裏面で確認してください。

２　あいさつ・声かけ運動の推進

終業式の話の中でも、地域の方に進んであいさつをするように子どもたちに話しました。上記キャッチフレーズにもあるように、大人も自分からあいさつするように心がけていただけるとありがたいです。

明日から、夏休みになります。ぜひ、強調月間の取組２点を心がけていただき、本校の子どもたちを見守ってください。子どもたちが、安心安全な夏休みを過ごせますようご協力をよろしくお願いします。

１学期の終業式

「今日、７月２０日、１学期のゴールを迎えました。終業式は、その学期をふり返り、これまでの頑張りをお互いに認め合う日です。」という話から終業式の校長の話を始めました。

「出会いの４月」、運動会に「燃えた５月」、学習活動が充実した「満ち足りた６月」、「まとめの７月」と、１学期をみんなで振り返りました。

そして、４月の自分と今の自分を比べたときに、頑張ったこと、わかるようになったこと、できるようになったことが、たくさん増えていることに気付いてほしいことを伝えました。また、校長として、どの学年もどの学級も、横尾っ子全員がこの１学期よく頑張り、随分成長したと自信をもって言うことができること、その中でたくさんの笑顔が見られたことをたいへんうれしく思っていることを伝えました。横尾小の校長先生になってよかったと。

この１学期の頑張りを２学期につなげるために明日から始まる夏休みに守ってほしいことを３つ話しました。

〇「命」；交通事故、水の事故、自然災害（昨年の大雨、長崎大水害の話もしました。）、不審者から自分の身を守ること。

〇「規則正しい生活」；「あはは運動」を実践すること。（「あ」いさつ・へんじ、元気よく！「は」やね・はやおき・朝ごはん！はきものそろえ、いい気持ち！）ゲームをしたり、YouTube を見たりする時間を守ること。

〇「コロナ・熱中症対策」；室内でのマスクの着用、手指の消毒の継続することと水分補給、帽子の着用などに気を付けること。

このようなことを守り、楽しく元気に夏休みを過ごし、２学期に笑顔で会いましょうと話しました。

本日は、各家庭でも、お子様の通知表をもとに、ご家族で１学期を振り返り、お子様の頑張りや成長を認める一日にしてほしいと思います。

児童代表の言葉は、次号で紹介させていただきます。